



若き血

(慶應義塾東久留米三田会会報)

第49号

発行：慶應義塾東久留米三田会
事務局：〒203-0043 下里 1-15-6
tel&fax:042-478-7270
e-mail:hkmitakai2003@gmail.com
編集：東久留米三田会広報委員会

第19回定期総会 書面開催の結果報告

東久留米三田会第19回総会につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため総会の開催を中止し、5月に総会議案を会員の皆様にお送りし、ご意見を募りました。

期日の5月31日までに、議決権行使ハガキをお送り頂いた方より、不承認はありませんでした。よって、第一号議案 2020年度活動報告、第二号議案 2020年度決算報告、第三号議案 2021年度活動計画、第四号議案 2021年度年会費0円、第五号議案 2021年度活動予算、第六号議案役員改選は原案のとおり承認いただきました。ありがとうございました。

幹事長 島崎 孝（平成1年 文学部卒）

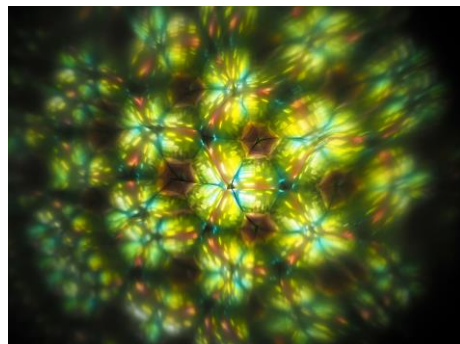
東久留米市立南町小学校 理科教室の開催報告

「東久留米三田会」と「自然科学に親しむ会」の共催で 理科教室を開催しましたので報告します。

1. 対象：東久留米市立南町小学校の四年生 93 名（4 名欠席）
南町小学校での理科教室は3回目です。
2. 日時：令和3年3月12日
第1組：8時45分～10時20分（33名内1名欠席）
第2組：10時45分～12時20分（32名）
第3組：12時40分～15時15分（28名内3名欠席）
3. テーマ：偏光板の性質を知る実験と偏光板を使った万華鏡の工作
4. 今年度の予定
南町小学校は今年度もこの教室を開催予定です。
更に、第一小学校も今年度にこの教室の開催を予定しています。
5. 東久留米三田会の参加者
佐武、山田、中川



工作風景



万華鏡で見える景色

副会長 佐武 昇（昭和36年 工学部卒）

投 稿

情報・知識・知恵を活かす

福島県会津の米どころにある山間の集落を訪ねる。深い谷から吹く爽やかな初夏の風が心地よい。辺りの森も、傾面に作られた棚田に立つ一本の桜の古木も青葉が美しい。その古木の下に、田の神の鎮座する小さな社^{やしろ}が見える。深^{しん}として人っ子一人いない。すべては静寂。昼下がりのしじまが支配する。

水田には水の出口と入口がある。上の田から下の田へ順番にミニチュアの滝のような水が流れている。この季節、田んぼは水の恵みが最も必要なときなのだろう。ここにはゆっくりとした時間^{とき}が流れている。

目に見えない新型コロナウイルスが世界を覆い、社会と暮らしを激変させた。人類がかつて経験したことのない危機だ。日本はどうか。東京都や大阪府、北海道などに3度の緊急事態宣言が発令された。そしてそれがまた3度目の延期となる。私たちの社会と暮らしはこれから予測困難な状況が刻々 あらわれてくると考えられる。東京五輪、パラリンピックが目の前に控える中、果たして開催できるのか注目したい。

今年も早や折り返しの六月だ。記憶は日々遠退^{とおの}くが、この半年、様々な出来事が起こった。あの大騒動に発展した女性蔑視失言問題。更に、政治とカネの問題。高級官僚たちの呆れた接待事件簿等を思い出す。暗い話ばかりではない。明るいニュースもある。松山英樹選手の男子ゴルフメジャー大会。米国マスターズに於いて日本男子で、アジア人で初の制覇。歴史にその名を刻む快挙だ。あっぱれ！

話を聞きながら、うーむ、この話はどこかで聞いたなあと思う。

こうした類^{たぐい}の話はよく耳にする。その話もあの話もそれからさっきの話も新聞に出ていたなあ、テレビで聞いたなあ~などと思うことがある。

その人が得々として話していることは、知った情報をいわば、ただ、受け売りしているのである。それなりに面白い情報の羅列なのに心の琴線に触れてこない。それはその人の心身を通して出てくる知恵の言葉がないからだ。つまり、その人の主語たる「私」の意識=考えある言葉が乏しいからだ。

私たちはとかく情報を知恵と混同しがちである。

—— 日本語の主語の意識が乏しいのはなぜか。主語がなくても平気な日本人。主語なしには会話も文も始まらない欧米人との差はなんだろうか。話の中心が空虚であることを好む日本人。言葉の核となる主語が謎に包まれている日本語。

一つの学説ではあるが、或る言語学者は日本語に主語はないと主張する。そして主語たる「私」が隠されている日本語こそ最も美しく、最も正しい日本語だと説く。

「いってらっしゃい」「ただいま」

「月が見える」「春はあけぼの」「温泉は熱海」

英語は主語過多な言語である。日本語は主語過少な言語である。

長い間、さまざまな論議が交わされてきた。最近「日本人の脳に主語はいらない」（月本 洋著・講談社選書メチエ）という本まで出版され話題を呼んでいる。

※参照…本書の裏面に抜粋文と主語をめぐる著者の発見した新事実の紹介が載っている…

『英語で“I love you.”とは言っても日本人は決して「私はあなたを愛している」などとは言わない。「雨が降る」を英語で言うと、“It rains.”のように「仮主語」が必要になる。

—— これはどうしてか？

人工知能研究所と脳科学の立場から、言語について実験と分析を重ねてきた著者が発見した新事実。それは日本語の音声をもつ特徴と、主語を必要としない脳の構造とが、非常に密接な関係にあることだった。斬新な視点による分析と、工夫をこらした実験、先行研究への広範な検討を重ねて、主語をめぐる長年の論争に大きな一石を投じる、衝撃の書！』

今日、情報は山ほどある。それを取り入れて賢くなったように錯覚する人がいる。あるいは情報の洪水におぼれ流される人もいる。勿論、情報は持っているに越したことはない。情報は力でもある。

でも、情報はどこまでも情報である。

例えば、育児、教育、生活、仕事に関して情報を集め事物を学び知る。これは知識の領域である。そしてその知識を土台にして、ことの道理や筋道をわきまえ、判断する心の動きが知恵である。それをを用いて、どう子育てをするのか、どう暮らして行くのか、どう仕事をすすめるかを決めるのは、知恵の領域である。知恵を育てるには、日頃からことに当たり考え抜くクセ＝訓練は欠かせない。むろん同時にさまざまな体験や人生経験を十分に生かすことも必要だ。

英国の詩人・批評家T. S. エリオットの有名な言葉がある。

「私たちが知識の中で失った知恵はどこにある。私たちが情報の中で失った知識はどこにある」
考えさせられる三つの言葉が織込まれている。

長い年月、一つの仕事に打ち込んできた職人。畑地で自然と向き合い辛苦を超えた農夫。
涯^{はてし}ない一途^{きわ}の道を窮める研究者。時に重みのある、味のある知恵の言葉を聞くことがある。

—— 今日先生は教室で知恵の言葉を授けているだろうか。親は子の情報判断を助けているだろうか。職場で上司は部下に適確な情報を、広い知識を、味のある知恵を語っているだろうか ——

特別顧問 佐藤 柳次郎（昭和37年 大学院文学研究科修了）

同好会の活動報告

パソコン同好会

パソコン同好会は平成27年5月からスタートし、原則的に毎月末金曜日に開催、令和2年度はコロナ禍の外出規制で3月以降は開催が出来ず、また会場の まろにえホールも3月から6月迄閉鎖された為 ようやく9月25日に通算57回目が開催されたところです。

その後10月～令和3年3月までコロナ禍対策を取って会場で4回、オンライン授業形式で1回計5回開催され 通算では61回となりました。特に10月以降はZ o o mを取り入れて何とか教室を維持しているのが現状です。

令和3年度は4月以降緊急事態宣言が発令され さらに延長となったので会場での授業は中止し、オンラインで4月―5月を開催しました。5月は特に従来のパソコン上のオンラインから参加者のスマホへ接続し、スマホ画面で対面した授業を行いました。

6月も緊急事態宣言が6月20日までとなったので、オンラインで開催予定です。

講師は滝山在住の岡田 実氏で、小平でも教えておられ、指導方法も丁寧で、特に三田会からの参加者の他に地元の方も参加されています。

今後もZ o o mを応用したテーマを学習していく予定なので、ご興味のおありの方は是非教室へお越しください。

安藤 彰邦(昭和41年 経済学部卒)

事務局からのお知らせ

<記事募集>

「東久留米三田会」では次回の会報に載せる記事を募集しております。地元や慶應義塾にまつわる話題、簡単な自己紹介等、奮って御応募ください。

連絡先 幹事長 : 島崎 孝 hkmmitakai2003@gmail.com tel&fax:042-478-7270

<「くるくるチャンネル」に掲載>

「東久留米のふれあい情報サイトくるくるチャンネル」にカラー版の会報誌を投稿しました。下記URLをクリックするか 「東久留米のふれあい情報サイトくるくるチャンネル」の検索で閲覧できます。イベント項目の一番目に最新号の「東久留米三田会会報誌」が掲載されており、そこからも閲覧できます。東久留米市のホームページの右下欄記載の「くるくるチャンネル」からサイトに入ることもできます。

<http://kuru-chan.com/0222mitakai/>